

アサギマダラの移動に関する徳島県の記録（2009年）

大原賢二¹・山田量崇¹

[Kenji Ôhara¹ and Kazutaka Yamada¹ : Records of migration of the Chestnuts Tiger, *Parantica sita* (Nymphalidae, Danainae) in the Tokushima Prefecture : 2009]

はじめに

鹿児島県で、アサギマダラのハネの白い部分に油性の黒色ペンで記号を書き、それを再捕獲することで本種の移動性を調査しようという活動が始まったのは1980年であった。筆者らの一人、大原が徳島県での調査を開始したのは1985年からであったが、県内のマーキング調査に参加される人もほとんどない状況が長く続いた。しかしながら、2000年秋に佐那河内村大川高原でアサギマダラの南下個体の記録が得られたあとは、県内での調査に参加される方々もふえ、さらにこのチョウの長距離移動が全国的にも有名になったために、急速に調査人口が増えつつある。

その後、本種の主要な移動時期である春期（5月中旬から6月初旬）、秋期（9月下旬から10月）に、美波町明神山（旧由岐町）で相当数が見られることが判明した。明神山では、東北地方や中部地方、あるいは近畿地方などでマークされた個体が再捕獲され、また明神山での標識個体が他地域へ移動した記録が急速に増えてきて、四国東部のアサギマダラの調査の重要なポイントとなった。また鳴門市撫養町妙見山や、小松島市日峰山なども重要な調査地点となって来つつある。

初めての再捕獲記録からちょうど10年目に当たる2009年は、これまでの徳島県での記録を整理する作業も行いたいと考えていたが、これまでの記録を全て見直して問題点を見出すまでには至っていない。

ここでは、「アサギマダラの移動調査」の2009年の結果を報告するとともに、この10年間の記録から見た徳島県のアサギマダラ的生活史や行動などにも少し触れてみたい。以下の記録は、2000年以降の年ごとの記録と同様、2009年のマーキングや再捕獲記録のうち、徳島県に関係する記録をまとめたものである。これらの記録は、全国各地の調査団体や個人の方々が、マーキングリスト [ML-asagi] や、[asaginet] への標識や再捕獲情報の提供、あるいは個人的に情報を提供して下さったことで得られたものである。

2009年は、他の地域から徳島県へ移動した個体（県内移動を含む）が30例、徳島県で標識を付けられ、他の県・地域で再捕獲された個体が15例（県内移動を除く）あった。以下にこれらの各個体の標識地や標識者、移動日数、移動距離などについて報告する。標識個体数に関しては総個体数（概数）のみとし、移動個体の記録を中心に報告する。

2010年2月5日受付、2月20日受理。

¹ 徳島県立博物館、〒770-8070 徳島市八万町文化の森総合公園。Tokushima Prefectural Museum, Bunka-no-Mori Park, Tokushima 770-8070, Japan.

徳島県への飛来記録は、その個体がマークされた地点の県別に本州の北の方から記録し、再捕獲日の早い順に示した。同一の標識地から複数の個体が飛来した場合は標識日の早い順に示した。

徳島県への飛来個体の記録

福島県からの飛来

1. グランデコススキー場から美波町

性別：♂

標識：デコ 8/17 SRS 7401

標識地：福島県耶麻郡北塩原村桧原荒砂沢山グランデコススキー場

標識日：2009年8月17日

標識者：栗田 昌裕

↓

再捕獲日：2009年10月20日

再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

再捕獲者：撫中 義美・喜代美

移動方向：南西，移動距離：636 km，移動日数：64日

2. グランデコススキー場から美波町

性別：♂

標識：デコ 8/25 SRS 7911 8/28：AH 164

標識地：福島県耶麻郡北塩原村桧原荒砂沢山グランデコススキー場

標識日：2009年8月25日

標識者：栗田 昌裕

↓

再捕獲日：2009年10月11日

再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

再捕獲者：蟻馬 由美

移動方向：南西，移動距離：636 km，移動日数：47日

3. グランデコススキー場から鳴門市

性別：♂

標識：デコ 9/3 SRS 8876

標識地：福島県耶麻郡北塩原村桧原荒砂沢山グランデコススキー場

標識日：2009年9月3日

標識者：栗田 昌裕

↓

再捕獲日：2009年10月17日

再捕獲地：徳島県鳴門市撫養町妙見山

再捕獲者：天野 大

移動方向：南西，移動距離：636 km，移動日数：44日

4. グランデコススキー場から美波町

性別：♀

標識：デコ 9/6 SRS 9805

標識地：福島県耶麻郡北塩原村桧原荒砂沢山グランデコススキー場

標識日：2009年9月6日

標識者：栗田 昌裕

↓

再捕獲日：2009年10月23日

再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

再捕獲者：撫中 義美・喜代美

移動方向：南西，移動距離：636 km，移動日数：47日

5. グランデコススキー場から美波町

性別：♂

標識：デコ 8/30 162-2

標識地：福島県耶麻郡北塩原村桧原荒砂沢山グランデコススキー場

標識日：2009年9月30日

標識者：栗田 昌裕

↓

再捕獲日：2009年10月10日

再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

再捕獲者：松田 勉

移動方向：南西，移動距離：636 km，移動日数：10日

6. 栃木県から阿南市

性別：♂

標識：日光 ハセ川 8.13

標識地：栃木県日光市湯元スキー場

標識日：2009年8月13日

標識者：長谷川 順一

↓

再捕獲日：2009年10月21日

再捕獲地：徳島県阿南市椿町須屋

再捕獲者：撫中 義美・喜代美

移動方向：南西，移動距離：546 km，移動日数：68日

7. 栃木県から阿南市

性別：♂

標識：日光 ハセ川 8.16

標識地：栃木県日光市湯元スキー場

標識日：2009年8月16日

標識者：長谷川 順一

↓

再捕獲日：2009年10月21日

再捕獲地：徳島県阿南市椿町須屋
再捕獲者：撫中 義美・喜代美
移動方向：南西，移動距離：546 km，移動日数：66 日

8. 静岡県から鳴門市

性別：♂
標識：フジ山 8/13 ; uno230
標識地：詳細不明
標識日：2009 年 8 月 13 日
標識者：宇野 絃子

↓

再捕獲日：2009 年 10 月 16 日
再捕獲地：徳島県鳴門市撫養町妙見山
再捕獲者：天野 由美子
移動方向：南西，移動距離：? km，移動日数：64 日

9. 長野県から美波町

性別：♂
標識：NP 9/19 TMS 1758
標識地：長野県大町市平中綱湖畔 のっぺ山荘
標識日：2009 年 9 月 19 日
標識者：Masuzawa

↓

再捕獲日：2009 年 10 月 12 日
再捕獲地：徳島県海部郡美波町（由岐町）明神山
再捕獲者：萬宮 翔平
移動方向：南西，移動距離：? km，移動日数：23 日

10. 愛知県から美波町

性別：♂
標識：MN 124 10.18 ハズ
標識地：愛知県幡豆郡幡豆町三ヶ根山 展望台付近
標識日：2009 年 10 月 18 日
標識者：中西 元男

↓

再捕獲日：2009 年 10 月 29 日
再捕獲地：徳島県阿南市椿町須屋
再捕獲者：撫中 義美・喜代美
移動方向：南西，移動距離：254km，移動日数：11 日

11. 愛知県から美波町

性別：♂
標識：ハズ YSH 57 10.15
標識地：愛知県幡豆郡幡豆町三ヶ根山 展望台付近

標識日：2009年10月15日

標識者：嶋崎 幸枝

↓

再捕獲日：2009年10月29日

再捕獲地：徳島県海部郡美波町（由岐町）明神山

再捕獲者：岩佐 晴男・和子

移動方向：南西，移動距離：256km，移動日数：14日

12. 三重県から美波町

性別：♂

標識：MKG 10/01 ; SNS 684

標識地：三重県伊賀市三国越え林道

標識日：2009年10月11日

標識者：西岡 征四

↓

再捕獲日：2009年10月15日

再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

再捕獲者：木本 晴貴（椿小学校4年生）

移動方向：南西，移動距離：168 km，移動日数：4日

13. 滋賀県から阿南市

性別：♂

標識：BV 8/19 SNS 295

標識地：滋賀県大津市びわ湖パレイ

標識日：2009年8月19日

標識者：西岡 征四

↓

再捕獲日：2009年10月15日

再捕獲地：徳島県阿南市椿町須屋

再捕獲者：撫中 喜代美

移動方向：南西，移動距離：190 km，移動日数：58日

大阪府からの飛来

14. 高槻市から美波町

性別：♂

標識：HM 152 TK 10/10

標識日：2007年10月10日

標識地：大阪府高槻市芥川流域

標識者：梶田 初美

↓

再捕獲日：2009年10月15日

再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

再捕獲者：木元 晴貴

移動方向：南西，移動距離：150km，移動日数：5日

15. 池田市から美波町

性別：♂

標識：GH 90 ST 10/11

標識地：大阪府池田市五月山市民の森

標識日：2009年10月11日

標識者：向 雅美

再捕獲日：2009年10月29日

再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

再捕獲者：萬宮 翔平

移動方向：南南西，移動距離：135km，移動日数：18日

↓

16. 池田市から美波町

性別：♂

標識：KM 102 ST 10/10

標識地：大阪府池田市五月山市民の森

標識日：2009年10月10日

標識者：松本 清

再捕獲日：2009年10月13日

再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

再捕獲者：松田 勉

移動方向：南南西，移動距離：135km，移動日数：3日

17. 池田市から美波町

性別：♂

標識：KM 102 ST 10/10

標識地：大阪府池田市五月山市民の森

標識日：2009年10月10日

標識者：松本 清

↓

再捕獲日：2009年10月15日

再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

再捕獲者：江上 大貴

移動方向：南南西，移動距離：135km，移動日数：5日

18. 池田市から美波町

性別：♂

標識：TA 127 10/14 ST

標識地：大阪府池田市五月山市民の森

標識日：2009年10月14日

標識者：相原 照章

↓

再捕獲日：2009年10月15日

再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山
再捕獲者：岩佐 晴男・和子
移動方向：南南西，移動距離：135km，移動日数：15日

兵庫県からの飛来

19. 宝塚市から美波町

性別：♂

標識：YWA 360 10.10 M 360

標識地：兵庫県宝塚市 武庫川流域

標識日：2009年10月10日

標識者：渡辺 康之

↓

再捕獲日：2009年10月11日
再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山
再捕獲者：大原 賢二
移動方向：南南西，移動距離：128 km，移動日数：1日

20. 宝塚市から美波町

性別：♂

標識：YWA 716 10.11 M

標識地：兵庫県宝塚市 武庫川流域

標識日：2009年10月10日

標識者：渡辺 康之

↓

再捕獲日：2009年10月15日
再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山
再捕獲者：小島 ひな
移動方向：南南西，移動距離：128 km，移動日数：4日

21. 宝塚市から美波町

性別：♂

標識：YWA 677 10.11 M

標識地：兵庫県宝塚市 武庫川流域

標識日：2009年10月11日

標識者：渡辺 康之

↓

再捕獲日：2009年10月15日
再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山
再捕獲者：蟻馬 成美（椿小学校4年生）
移動方向：南南西，移動距離：128 km，移動日数：4日

22. 宝塚市から美波町

性別：♂

標識：WA 713 10.11 M

標識地：兵庫県宝塚市 武庫川流域

標識日：2009年10月11日

標識者：渡辺 康之

↓

再捕獲日：2009年10月19日

再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

再捕獲者：松田 勉

移動方向：南南西，移動距離：128 km，移動日数：8日

23. 宝塚市から美波町

性別：♂

標識：YWA 703 M 10.11

標識地：兵庫県宝塚市 武庫川流域

標識日：2009年10月11日

標識者：渡辺 康之

↓

再捕獲日：2009年10月22日

再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

再捕獲者：撫中 義美・喜代美

移動方向：南南西，移動距離：128 km，移動日数：11日

24. 宝塚市から美波町

性別：♂

標識：SOA 186 MG 10/16

標識地：兵庫県宝塚市南口2 武庫川右岸

標識日：2009年10月16日

標識者：大島 新一郎

↓

再捕獲日：2009年10月25日

再捕獲地：徳島県阿南市椿町須屋

再捕獲者：蟻馬 由美

移動方向：南南西，移動距離：124 km，移動日数：9日

↓

再々捕獲日：2009年10月27日

再々捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

再々捕獲者：撫中 義美・喜代美

移動方向：西南西，移動距離：3 km，移動日数：2日

和歌山県からの移動

25. 西山から美波町

性別：♂

標識：10/17 YSK 485 西山

標識地：和歌山県日高郡日高町 西山

標識日：2009年10月16日

標識者：崎山 孝也

↓

再捕獲日：2009年10月25日
再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山
再捕獲者：撫中 義美・喜代美
移動方向：西南西，移動距離：44 km，移動日数：5日

26. 西山から美波町

性別：♂

標識：SNS 860 西山 10/18

標識地：和歌山県日高郡日高町 西山

標識日：2009年10月18日

標識者：崎山 孝也

↓

再捕獲日：2009年10月22日
再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山
再捕獲者：西岡 征四
移動方向：西南西，移動距離：44 km，移動日数：5日

徳島県内移動

27. 鳴門市から徳島市

性別：♂

標識：FA ナルト；10.22

標識地：徳島県鳴門市撫養町木津

標識日：2009年10月22日

標識者：浅木 富美

↓

再捕獲日：2009年10月25日
再捕獲地：徳島県徳島市八万町長谷
再捕獲者：藤原 寛（マーク個体を撮影）
移動方向：南南西，移動日数：3日 移動距離：15km

28. 阿南市から美波町

性別：♂

標識：10.23 スヤ ム中

標識地：徳島県阿南市椿町須屋

標識日：2009年10月23日

標識者：撫中 義美・喜代美

↓

再捕獲日：2009年10月28日
再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山
再捕獲者：撫中 義美・喜代美
移動方向：西南西，移動距離：3 km，移動日数：5日

29. 阿南市から美波町

性別：♂

標識：10.25 スヤ ム中

標識地：徳島県阿南市椿町須屋

標識日：2009年10月23日

標識者：撫中 義美・喜代美

↓

再捕獲日：2009年10月28日

再捕獲地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

再捕獲者：撫中 義美・喜代美

移動方向：西南西，移動距離：3km，移動日数：3日

30. 美波町から阿南市

性別：♂

標識：トク ム中 10.20

標識地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

標識日：2009年10月20日

標識者：撫中 義美・喜代美

↓

再捕獲日：2009年10月28日

再捕獲地：徳島県阿南市椿町須屋

再捕獲者：撫中 義美・喜代美

移動方向：東北東，移動距離：3km，移動日数：8日

徳島県からの移動個体の記録

美波町から滋賀県

1. 明神山から大津市

性別：♀

標識：トク ム中 5.14

標識地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

標識日：2009年5月14日

標識者：撫中 義美・喜代美

↓

再捕獲日：2009年5月19日

再捕獲地：滋賀県大津市八屋戸

再捕獲者：多田 たかね

移動方向：北東，移動距離：173km，移動日数：5日

徳島県からの春の北上記録としての初めての個体となった。

2. 小松島市から高知県

性別：♀

標識：10.12 16 上S トクヒノ

標識地：徳島県小松島市中田町東山日峰山 日峰神社付近

標識日：2009年10月12日

標識者：上岡 慎悟

↓

再捕獲日：2009年10月21日

再捕獲地：高知県香南市龍河洞スカイライン

再捕獲者：船奥 由貴

移動方向：西南西，移動距離：75km，移動日数：9日

3. 明神山から高知県

性別：♂

標識：トク 10.9 ム中

標識地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

標識日：2009年10月9日

標識者：撫中 義美・喜代美

↓

再捕獲日：2009年10月14日

再捕獲地：高知県香南市夜須町長者ガ森

再捕獲者：本山 八司

移動方向：西南西，移動距離：77km，移動日数：5日

4. 明神山から高知県

性別：♂

標識：10.15 トクシマ： ナガサカマ MJ

標識地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

標識日：2009年10月15日

標識者：長坂 真帆（椿小）

↓

再捕獲日：2009年10月27日

再捕獲地：高知県香南市夜須町長者ガ森

再捕獲者：本山 八司

移動方向：西南西，移動距離：772km，移動日数：5日

5. 明神山から高知県室戸岬

性別：♂

標識：10.13 トクマン：MJ9

標識地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

標識日：2009年10月11日

標識者：萬宮 翔平

↓

再捕獲日：2009年11月6日

再捕獲地：高知県室戸市室戸スカイライン

再捕獲者：藤野 適宏

移動方向：南西，移動距離：80km，移動日数：24日

6. 明神山から高知県室戸岬

性別：♂

標識：トクシマ 1029 イワサ MJ

標識地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

標識日：2009年10月29日

標識者：岩佐 晴男・和子

↓

再捕獲日：2009年11月8日

再捕獲地：高知県室戸市室戸スカイライン

再捕獲者：金田 忍

移動方向：南西，移動距離：80km，移動日数：8日

7. 明神山から高知県

性別：♂

標識：MJ アリマ 24 10.11

標識地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

標識日：2009年10月11日

標識者：蟻馬 由美

↓

再捕獲日：2009年10月17日

再捕獲地：高知県高知市五台山 県立牧野植物園南園

再捕獲者：山崎 三郎

移動方向：南南西，移動距離：80km，移動日数：4日

8. 明神山から高知市

性別：♂

標識：トク MJ ? 10.11 20

標識日：2009年10月11日

標識地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

標識者：新居 小春（小5）

↓

再捕獲日：2009年10月19日

再捕獲地：高知県高知市横山町高知学芸高校

再捕獲者：学芸高校の生徒（死体の写真撮影）

この個体は、高知学芸高校の方からネット上にマークの付いたアサギマダラが死んでいたということで、写真を提供されたもの。10月11日に行った明神山での当館の行事での標識個体に間違いなく、文字もほぼ読めたのであるが、ちょうど名前を書いた部分が破損して全く見えない状態であった。個体番号が20であったため、それ以上の個体にマークを付けた方々の文字を比較し、新居さんの文字であると確認したものである。

9. 明神山から高知県幡多郡

性別：♂

標識：トク 10.14 ム中

標識地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

標識日：2009年10月14日
標識者：撫中 義美・喜代美

↓

再捕獲日：2009年10月27日
再捕獲地：高知県幡多郡黒潮町（旧：窪川町）興津峠
再捕獲者：本山 八司
移動方向：西南西，移動距離：152km，移動日数：13日

10. 明神山から高知県幡多郡

性別：♂

標識：トク ム中 10.20

標識地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

標識日：2009年10月20日

標識者：撫中 義美・喜代美

↓

再捕獲日：2009年11月8日
再捕獲地：高知県幡多郡大月町大堂 展望台
再捕獲者：藤野 適宏
移動方向：西南西，移動距離：217km，移動日数：19日

11. 須屋から高知県幡多郡

性別：♂

標識：10.29 スヤ ム中

標識地：徳島県阿南市椿町須屋

標識日：2009年10月29日

標識者：撫中 義美・喜代美

↓

再捕獲日：2009年11月8日
再捕獲地：高知県幡多郡大月町大堂 展望台
再捕獲者：金田 忍
移動方向：西南西，移動距離：217km，移動日数：10日

12. 鳴門市から鹿児島県指宿市

性別：♂

標識：ナルト アマノ 10.16

標識地：徳島県鳴門市撫養町自宅のフジバカマ

標識日：2009年10月16日

標識者：天野 由美子

↓

再捕獲日：2009年10月31日
再捕獲地：鹿児島県指宿市鷲尾岳
再捕獲者：濱田 孝子
移動方向：南西，移動距離：500km，移動日数：15日

13. 明神山から鹿児島県喜界島

性別：♂

標識：トク 10.8 ム中

標識地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

標識日：2009年10月8日

標識者：撫中 義美・喜代美

↓

再捕獲日：2009年11月6日

再捕獲地：鹿児島県大島郡喜界町百之台（喜界島）

再捕獲者：橋本 定雄

移動方向：南西，移動距離：760km，移動日数：29日

14. 阿南市須屋から沖縄本島

性別：♂

標識：ム中 トク スヤ 10.5

標識地：徳島県阿南市椿町須屋

標識日：2009年10月5日

標識者：撫中 義美・喜代美

↓

再捕獲日：2009年11月7日

再捕獲地：沖縄県国頭郡国頭村伊江林道

再捕獲者：鈴木 常司

移動方向：南西，移動距離：990km，移動日数：33日

15. 明神山から沖縄本島

性別：♂

標識：トク ム中 10.20

標識地：徳島県海部郡美波町（旧：由岐町）明神山

標識日：2009年10月20日

標識者：撫中 義美・喜代美

↓

再捕獲日：2009年10月30日

再捕獲地：沖縄県国頭郡本部町 大嘉陽林道

再捕獲者：長嶺 邦雄

移動方向：南西，移動距離：1025km，移動日数：10日

2009年の調査の概要

1. 標識個体数

春期：標識個体数は、別記の表にも示した通り242個体で、かなり多い方であった。

秋期：標識個体数は、合計1304個体でやや少なかったと思われる。

2. 移動個体数

徳島県への移動個体は30例（県内での短距離移動を含む）であった。福島県のグランデコススキー場などからの移動個体はほぼ例年と同様であったが、2007～8年には多かった北陸方面（石川県、福井県など）からの飛来はなかった。

2009年に目立ったのが兵庫県宝塚市からの飛来個体が多かったことで、標識後、130kmほどの距離を1日で移動した個体もあった。標識地は武庫川の河川敷で、多くのミズヒマワリが咲いているということである。ミズヒマワリは特定外来種に指定されてはいるが、アサギマダラに対する誘引性はきわめて強いものがあり、ここでのマーク個体数は急速に増えているということである（渡辺康之氏、大島新一郎氏のご教示による）。

また、ここ数年、秋期に高知県からの逆戻りともいえる飛来記録が複数得られていたが、2009年秋には、高知県などからの逆戻り的な記録はほとんどなかった。

2006年～2008年は徳島県から他の地域への移動記録が少なく、九州方面まで移動した個体は非常に少なくなっていた（大原，2008；大原・山田，2009など）。しかしこの現象は南西諸島での再捕獲記録がこの数年以前よりも少なかったこともあり、徳島県からの移動だけが少ないということではないようである。

2009年は、鹿児島県薩摩半島南端への移動が1個体、喜界島へ1個体、沖縄本島へ2個体の移動があった。しかし、2009年の移動記録としては、このような長距離移動だけでなく、鳴門市から徳島市八万町の眉山南麓への移動や、美波町明神山と阿南市須屋の間の数キロの移動など、短距離の移動記録が複数得られたことが、滞在日数や移動方向などの情報として非常に貴重なものと考えられる。

2000～2009年の徳島県でのアサギマダラの調査について

2000年9月に佐那河内村大川原高原で最初のマーク個体が再捕獲されてから10年が経過したのを機に、これまでの記録を整理してみたい。

1. 標識個体数

	春 期		秋 期	
	個体数	期 間	個体数	期 間
2000年	55	2000.4.25~5.30	683	2000.8.3~11.3
2001年	262	2001.5.10~6.11	1,199	2001.9.8~11.2
2002年	80	2002.4.13~6.2	685	2002.9.10~11.8
2003年	78	2003.5.1~6.9	2,160	2003.9.10~11.9
2004年	395	2004.4.30~6.10	1,353	2004.9.25~11.10
2005年	241	2005.5.1~6.14	3,828	2005.8.17~11.13
2006年	108	2006.5.5~6.13	1,825	2006.9.15~11.6
2007年	29	2007.5.8~6.10	3,177	2007.9.26~11.17
2008年	71	2008.5.7~6.17	2,040	2008.9.20~11.2
2009年	242	2009.5.14~6.7	1,304	2009.9.20~10.31

表は徳島県で春と秋に標識を付けられたアサギマダラの個体数を示したものである。これは県内の各地での記録を全て合計したものであり、一つの場所の個体数ではない。しかし、1998年秋に海部郡美波町（旧由岐町）の明神山がアサギマダラの調査地として良好な環境であることが判明してから、春期、秋期共に明神山での標識個体数が徳島県の標識個体数のほとんどを占めるようになってきている。また、特徴的なこととしては、春期の個体数もそのほとんどは明神山での標識個体数であるが、春にこれほどの標識ができる調査地は九州や四国、近畿地方などでも他には見られない。ただ、この時期の標識個体が、北上して再発見されたのは2009年の滋賀県大津市の1個体だけであり、紀伊半島や近畿地方の他の場所での再発見はない。

秋期には明神山、鳴門の妙見山、徳島市眉山や小松島市日峰山などが良好な調査地として知られるようになったことで、調査して下さる方が増えたこともあり、個体数としては相当数に上るようになった。ただ、総個体数の9割ほどはやはり明神山での標識であり、ここがなぜこれほど多数が飛来してくる場所であるかはよく分からないが、東西方向への山道が開かれ、その両脇にアザミやヒヨドリバナなどが咲いていることが吸蜜場所として適していることは間違いないことである。なお、この道路の管理は明神山山頂部にある神社の管理と関係して、阿南市椿町の方々が行っているが、アサギマダラの秋の移動がほぼ終わる頃までは草刈りを延期して下さっていることも大きな要因である。

過去の移動記録のまとめ

- 徳島県での再捕獲件数（2000年から2009）地名の後の数字はその地名からの飛来個体数
全部で212個体（2000年9月21日、ピワコバレイからの個体が最初）、ほかに再々捕獲
個体6件
 - ・山形県蔵王（3）
 - ・福島県北塩原村グランデコススキー場（30）；群馬県（4）；栃木県日光（6）；山梨県（4）；
長野県（18：大鹿村鳥倉林道5、のっぺ山荘 6など）

- ・静岡県（2）；愛知県（17：三ヶ根山7，幡豆など）；岐阜県（3）
- ・新潟県（1）；富山県（2）；石川県（10，多くは宝達山）；福井県（2）
- ・滋賀県（13：ビワコバレイ10）；京都府（2），大阪府（22：高槻12，五月山8）
兵庫県（12：武庫川10）
- ・三重県（8）；奈良県（3）；和歌山県（25：西山20，日ノ岬2など）
- ・高知県（11；室戸岬5，香美市3など）
- ・徳島県内での短距離移動（7：鳴門から眉山，明神山から日峰山など）

◎春の北上個体 1例

鹿児島県喜界島から鳴門市大麻山

2.徳島県からの移動記録（2000年から2009年）

153件

- ・愛媛県；3
- ・高知県；100（室戸岬：54，足摺岬：4，幡多郡：12，香南市夜須町：15，秋葉山：6，その他：9）
- ・宮崎県延岡市：1
- ・鹿児島県；35（指宿～開聞岳周辺：3，坊津～野間岳：2，屋久島：2，小宝島：2，喜界島：21，奄美大島：5）
- ・沖縄県；7（沖縄本島 4，南大東島 1，竹富島 1，与那国島 1）
- ・徳島県内での移動確認：（7）徳島県への移動の個体数と同じ

秋期の南下あるいは西への移動記録において、四国の中でも室戸岬の記録が非常に多く、アサギマダラの長距離移動において室戸岬は特別な場所に思えた時期があった。徳島県からの移動記録を見ても、総数153個体の1/3にもあたる54個体が室戸岬で記録されている。しかしながら、近年の調査によって四国の中央から南部を、東から西へ横切る形の移動も相当多いことがわかってきている。本州や四国の南岸を海沿いに移動するというのではないことはわかるが、室戸岬のように大きく海へ突き出ている半島に着いたアサギマダラが、かなりの日数滞在している記録もあり（アサギマダラ年鑑やメーリングリスト等の情報による）、徳島県の南岸にはそのような地形がないために、かなり早く移動しているようにしか見えないが、数日後に同所で再捕獲される個体も増えてきている。徳島県での移動期の吸蜜行動だけでなく、産卵行動、交尾行動などにも注意しておく必要がある。

徳島県への移動は年による地域的な差は大きいですが、山形県の蔵王や、福島県耶麻郡北塩原村などが最も北の方からの個体である。群馬県赤城山、栃木県日光、山梨県や長野県からの個体も多い。年による変動が大きいのは北陸方面からの個体で、富山県や石川県、福井県などからの飛来個体が多い年と、全く飛来しない年がある。これらの個体が南西方向へ移動してきているのか、紀伊半島へ南下した後に西へ移動してきたのか判断が難しい。鳴門市でこの方向からの個体が再捕獲されることが多いが、この場合には南西方向へ移動し、淡路島を経由したのであろうと思われるが、明神山で再捕獲される場合は、紀伊半島側でも相当再捕獲されることを考えるとその判断は難しいが、紀伊半島での再捕獲個体が徳島県で再々捕獲

されるような例が出てくるとそのような方向もあると確認できるかもしれない。

徳島県からの移動は、高知県への移動が最も多く、四国西部への記録は少ないが、宮崎県延岡市への移動記録は貴重なものと考えている。大分県や宮崎県北部への移動は相当多いのではないと思われるが、延岡から大分市にかけての地域は、山も多く、調査人口が少ないのも記録が出にくい原因かもしれない。

鹿児島県の本土各地では、記録としては少ないが、再捕獲された場所としては、薩摩半島にたどり着いた後、南下していく方向が見える記録と思われる。

南西諸島では喜界島への移動が際だって多いのは興味深い。また、同日同所での標識個体が、オスとメスで40日も離れて小宝島への移動した記録は雌雄での行動の違いを暗示する記録と思われる。

謝 辞

徳島県でのアサギマダラの移動に関する調査は、明神山を中心に神野清司氏が始められ、その後、撫中義美・喜代美氏ご夫妻、松田勉氏、岩佐晴男・和子氏ご夫妻、土佐信明氏とご家族がおもに調査してくださっている。2009年からは蟻馬由美さんのご家族もご協力下さっている。小松島市日峰山では上岡慎悟君とご家族、萬宮翔平氏ご夫妻、徳島市眉山を中心に中島真典氏が調査され、鳴門市では天野大・由美子氏ご夫妻、浅木幸造・富美氏ご夫妻らが調査されておられる。また、湯浅勝利・真智子氏ご夫妻が牟岐町を中心に調査されており、これらの方々の精力的な調査によって多くの記録が得られている。記して厚くお礼申し上げます。

また、徳島県で再確認された個体の標識時の情報、あるいは徳島県からの移動個体の再捕獲情報や写真などをお寄せ下さった東京都の栗田昌裕氏をはじめ、鹿児島県喜界島の福島誠氏、高知大学の荒川良教授と研究室の学生さん方、高知県の山崎三郎氏、本山八司氏、愛媛県の若山勇太氏、メーリングリスト上で情報をお寄せいただいた長谷川順一氏、金田忍氏、藤野適宏氏、大島新一郎氏、渡辺康之氏をはじめ多くの方々、そして全国のアサギマダラの情報のとりまとめや記録のご教示など、このチョウの移動に関する調査の世話役をされ、写真の提供や標識情報などをお知らせ下さる京都府の藤井恒氏、大阪自然史博物館の金沢至氏に心からお礼申し上げます。

引用文献

- 大原賢二. 2007. アサギマダラの移動に関する徳島県の記録 (2006). 徳島県立博物館研究報告, (17): 101-122.
- 大原賢二・山田量崇. 2008. アサギマダラの移動に関する徳島県の記録 (2007). 徳島県立博物館研究報告, (18): 67-83.
- 大原賢二・山田量崇. 2009. アサギマダラの移動に関する徳島県の記録 (2008). 徳島県立博物館研究報告, (19): 55-66.